

## 学校自己評価システム取組状況調査報告書

平成27年度

県立学校評価委員会

学校名	埼玉県立進修館高等学校		Aグループ
項目	調査の観点	取組状況に関する所見	
目指す学校像	目指す学校像は、学校の現状、課題等を踏まえて設定されているか。	学校評価懇話会やアンケートなどを通し、生徒・保護者や地域の期待やニーズを把握して今年度見直しが図られている。学校の現状や課題などを踏まえて概ね適切に設定されているが、学校の目指す方向を明確に示すようにより具体的で学校の強みを生かした学校像にさせていただくと更に良い。	
重点目標	学校が抱える課題の解決に向け、児童生徒の実態など学校の状況を踏まえて、目標の重点化が図られているか。	地域の期待、生徒の学力や進路の実態を踏まえ、今年度重点目標の見直しが図られている。目指す学校像を踏まえ、学校の取り組むべき課題が明確に示されているが、教育活動の指針となるようにより具体的な目標にすることが望まれる。	
重点目標達成への取組	重点目標の達成に向けた組織体制が整備され、適切に機能しているか。	評価運営委員会と分掌・学年等が連携しながら目標達成を目指す体制が整えられている。進行管理のための中間報告を作成し、遅刻者数やホームページアクセス数など重点目標の達成に向け根拠データや資料が組織的に収集・整理されており、学校評価懇話会等で得られた学校関係者の意見を学校運営にうまく活用した優れた取組となっている。	
	方策は適切に策定され、効果的に実施されているか。	学校全体のシートに基づいた方策が分掌・学年等で策定され、組織的に実施されており、ホームページを毎日更新するなど情報発信に努めている。評価指標が方策の達成状況を評価するものとは必ずしもなっていないため、取組指標と成果指標をうまく組み合わせで分かりやすい評価指標を設定するよう工夫することが望まれる。	
	校長の的確なリーダーシップの下、教職員が共通理解を深めながら組織的に取り組んでいるか。	創立100周年を迎え、校長が学校の課題を踏まえた学校経営の方針を持ち、取り組んでいる。教頭として在職した経験を生かし、規律を高めるために「授業心得」を作成・徹底し、校内の連携を強化するため進路指導室を一部屋にまとめるなど、校長として状況に即した的確なリーダーシップを発揮して、課題の解決に向けて、学校全体として組織的な取組を行っている。	
	学校関係者評価等を踏まえて、達成状況や課題を検証し、取組の改善・更新が行われているか。	生徒・保護者・教員対象のアンケートや学校関係者評価などを基に、取組を検証するための情報収集に努めている。それらの情報をより一層有効に活用し、方策や評価指標等の見直しを検討するなど次年度の具体的な取組につなげるようにしていただきたい。	
特記事項			